

廃プラスチック処理状況調査結果について

～2019年度温室効果ガス排出量等実態調査結果より～

公益社団法人全国産業資源循環連合会
専務理事 森谷 賢

はじめに

- (公社)全国産業資源循環連合会では、都道府県協会会員企業(以下、「会員企業」)を対象に温室効果ガス排出量等実態調査(以下、「実態調査」)を毎年度実施。
- 今年度の実態調査では、廃プラ類の受入等の動向に関する調査票を追加。
- 今回、2019年度実態調査結果のとりまとめに先立ち、廃プラ類に関する内容を取り急ぎ整理。

調査概要

● 調査対象 約7,500社

※調査対象の内訳は、下記のとおり。

- ・中間処理業もしくは最終処分業のいずれかの許可を持つ全ての会員企業
- ・都道府県ごとに40社程度を抽出した収集運搬業の許可のみを持つ会員企業

● 調査方法

- ・「実態調査票」を調査対象会員企業に発送するアンケート方式で実施
- ・ 調査票の発送及び回収は、郵送もしくはメールにより実施

● 調査期間

2019年4月24日(水)～6月21日(金)

● 調査結果(とりまとめ方法)

- ・ 2019年8月29日(木)までの回答分を整理
- ・ 8地域別に回答を集計

3

回答状況

業種	発送数	回答数	回答率
中間処理業	5,573	1,550	27.8%
最終処分業	678	210	31.0%
収集運搬業	6,897	1,764	25.6%
合計	7,503	2,018	26.9%

※ 複数の許可を持つ場合、中間・最終・収運のうちの複数の区分に重複して計上されることがあるので、各区分の合計と「合計」は一致しない。

※ 収集運搬業に関する発送数については、約2000は収集運搬業のみの許可を持つ社の分、その他約5000は中間処理業あるいは最終処分業の許可も持つ社の分である。

4

調査結果(1)

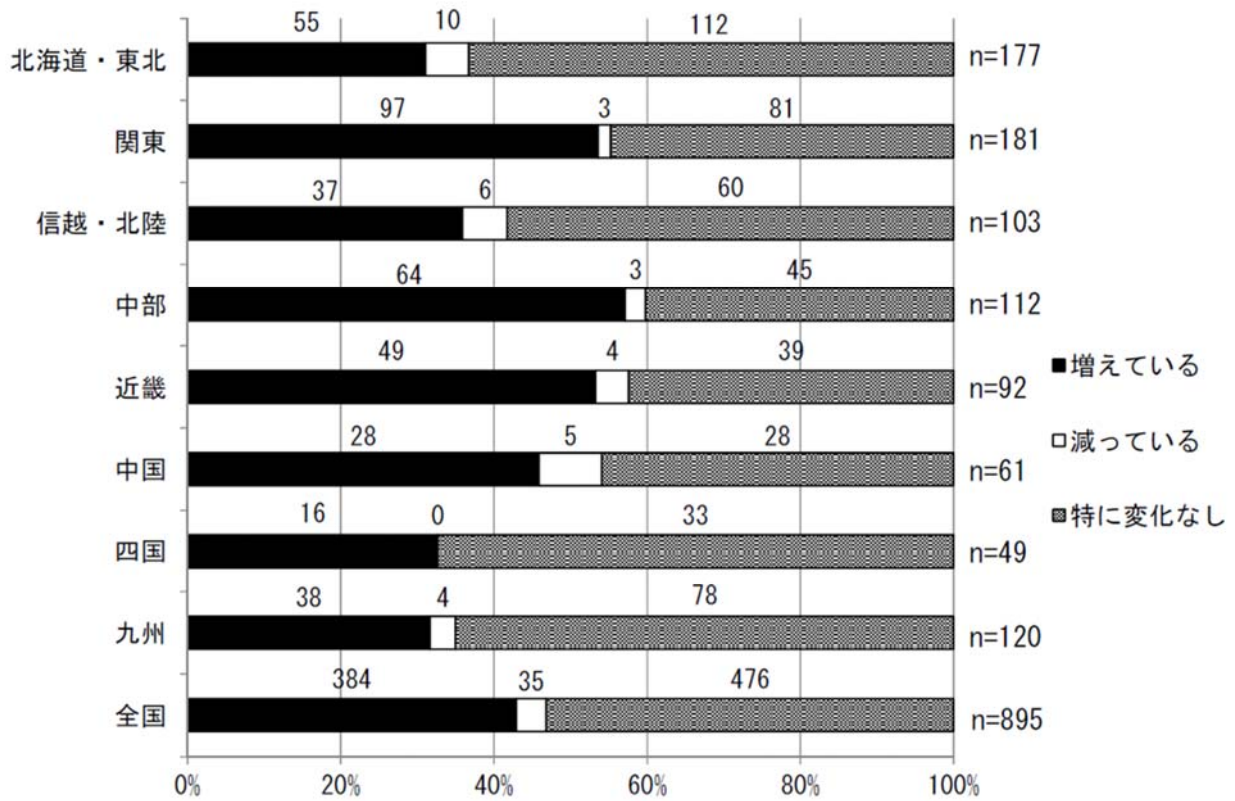


図-1 廃プラの受け入れに関する新規問合せの件数(2017年度に対して2018年度が)

5

調査結果(2)

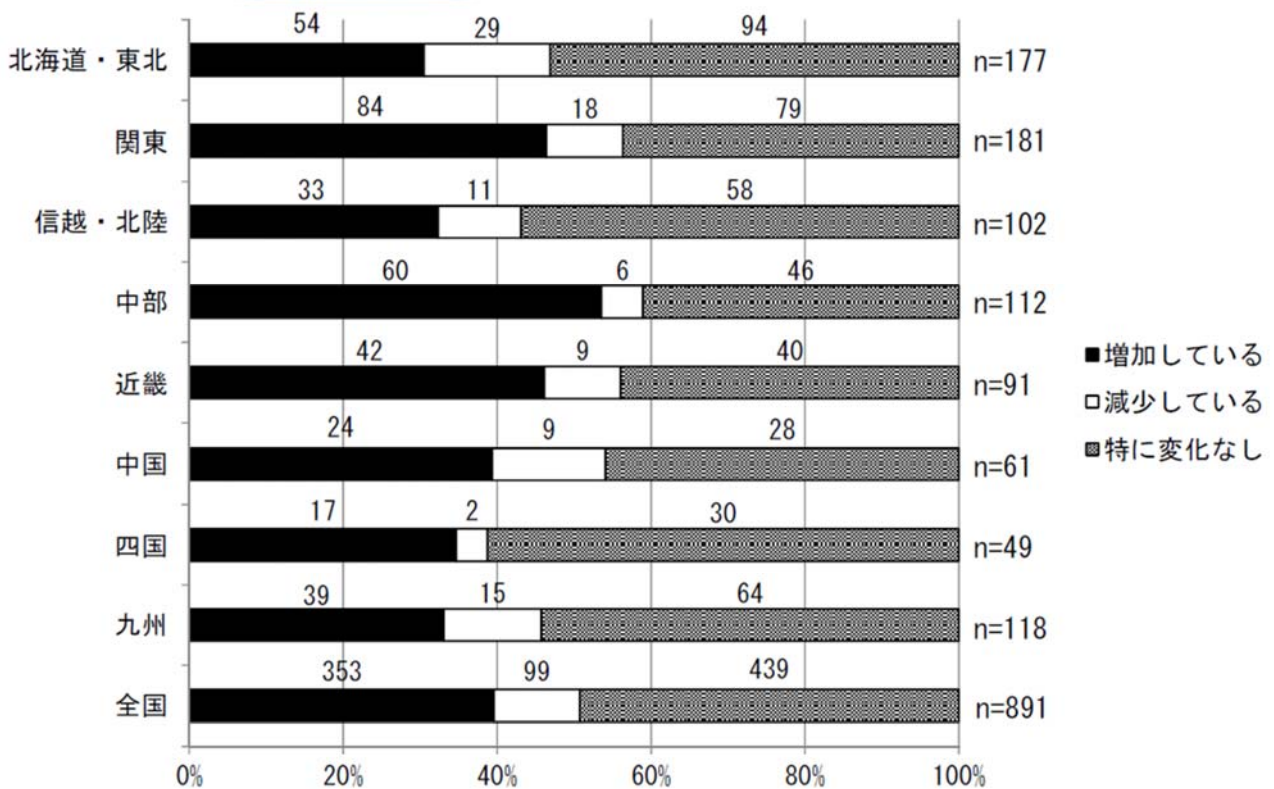


図-2 廃プラの受入量(2017年度に対して2018年度が)

6

調査結果(3)

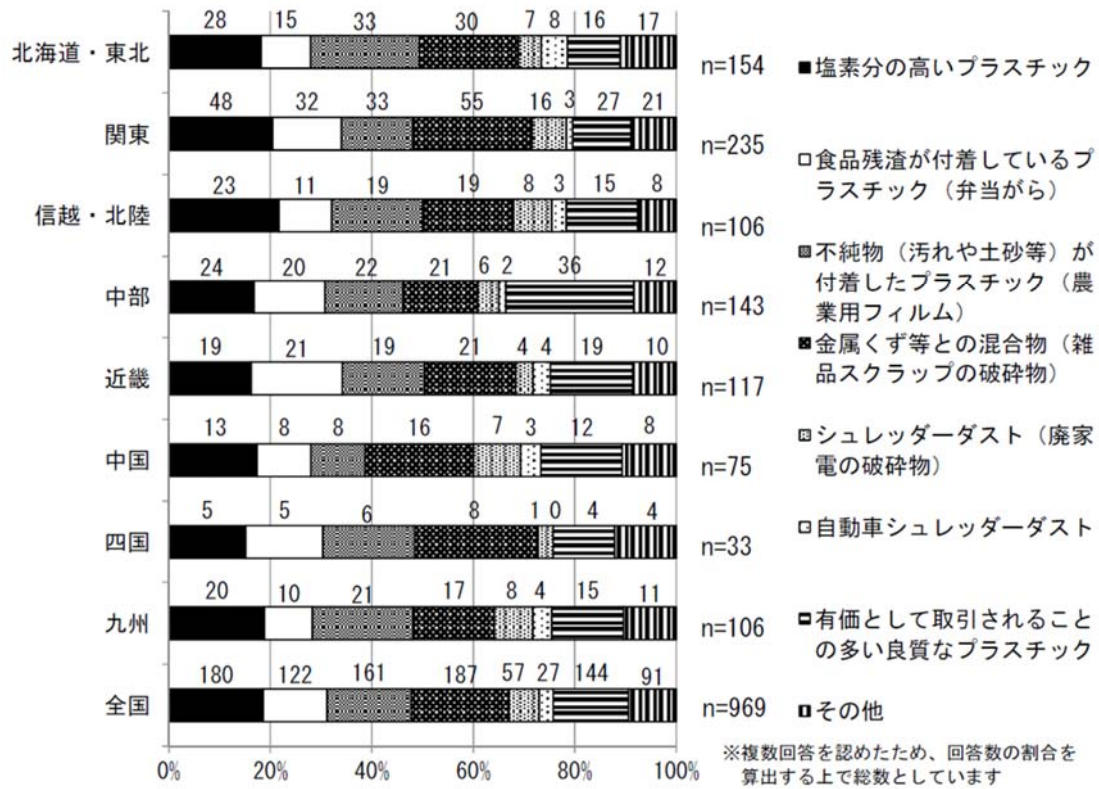


図-3 新規問合せ、または受入量が増加した廃プラの種類

調査結果(4)

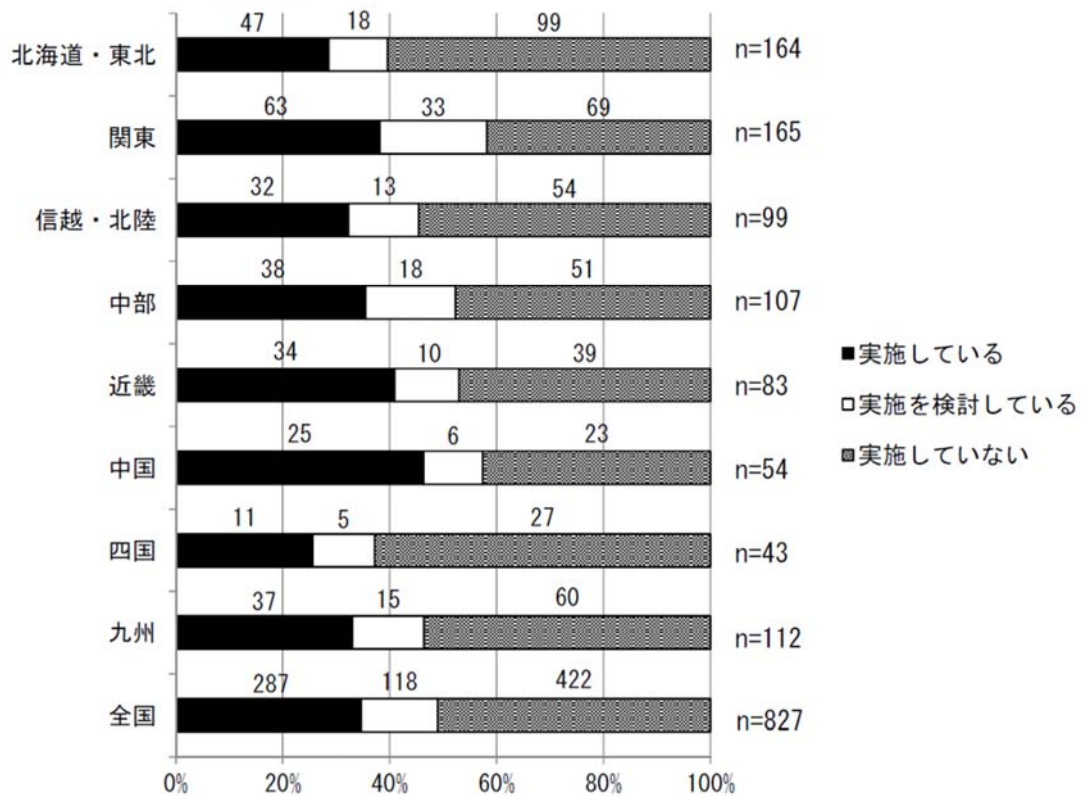


図-4 受け入れ制限の実施状況

調査結果(5)

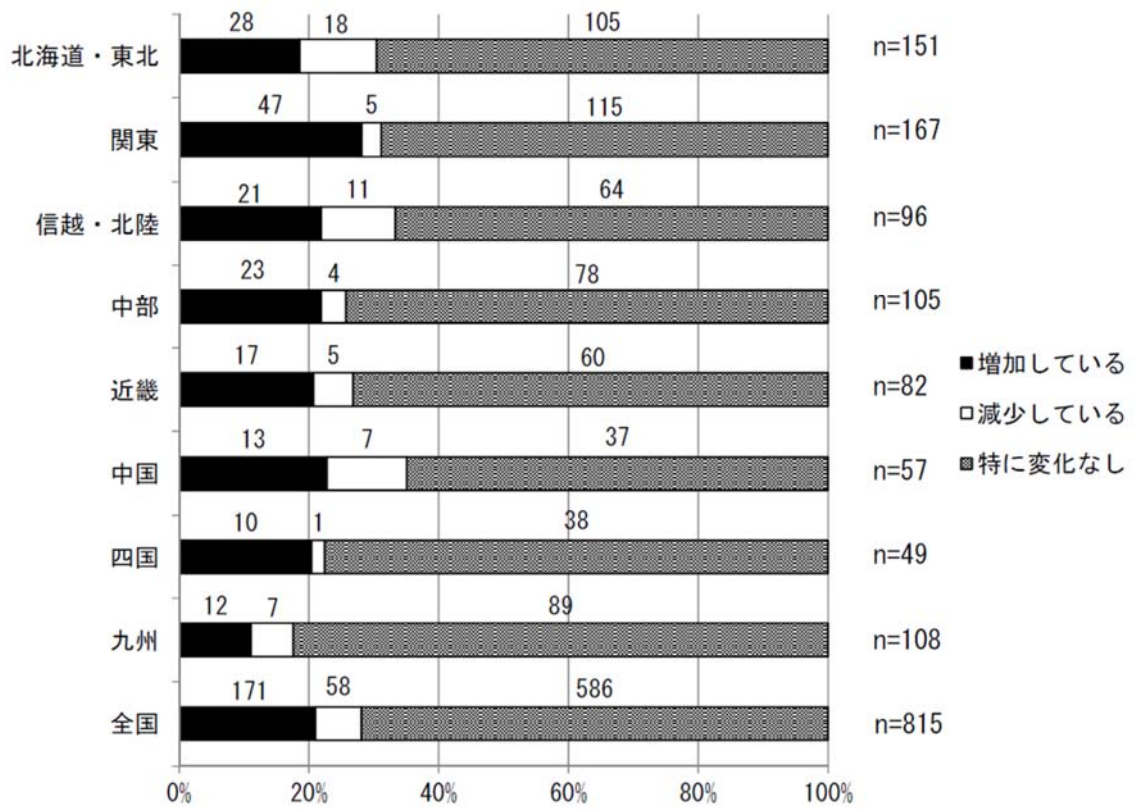


図-5 廃プラの保管量(2017年度に対して2018年後が)

調査結果(6)

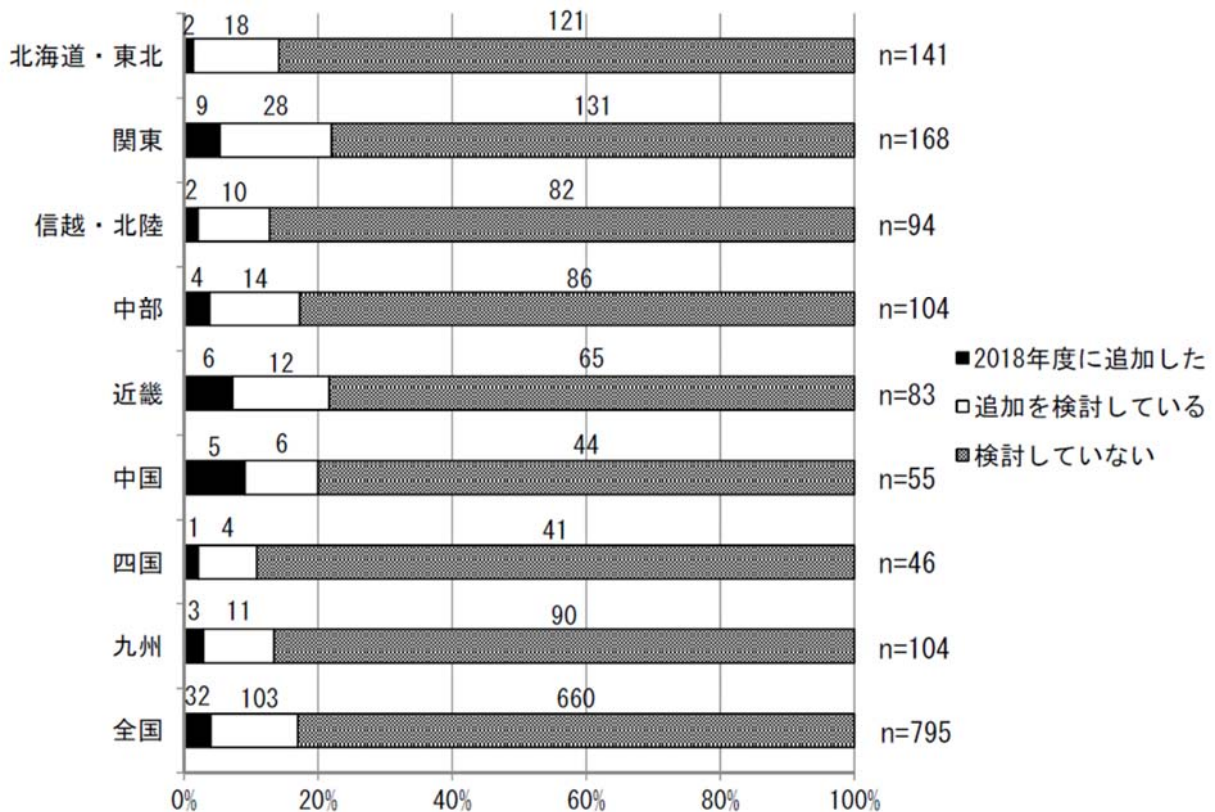


図-6 保管場所の追加確保

調査結果(7)

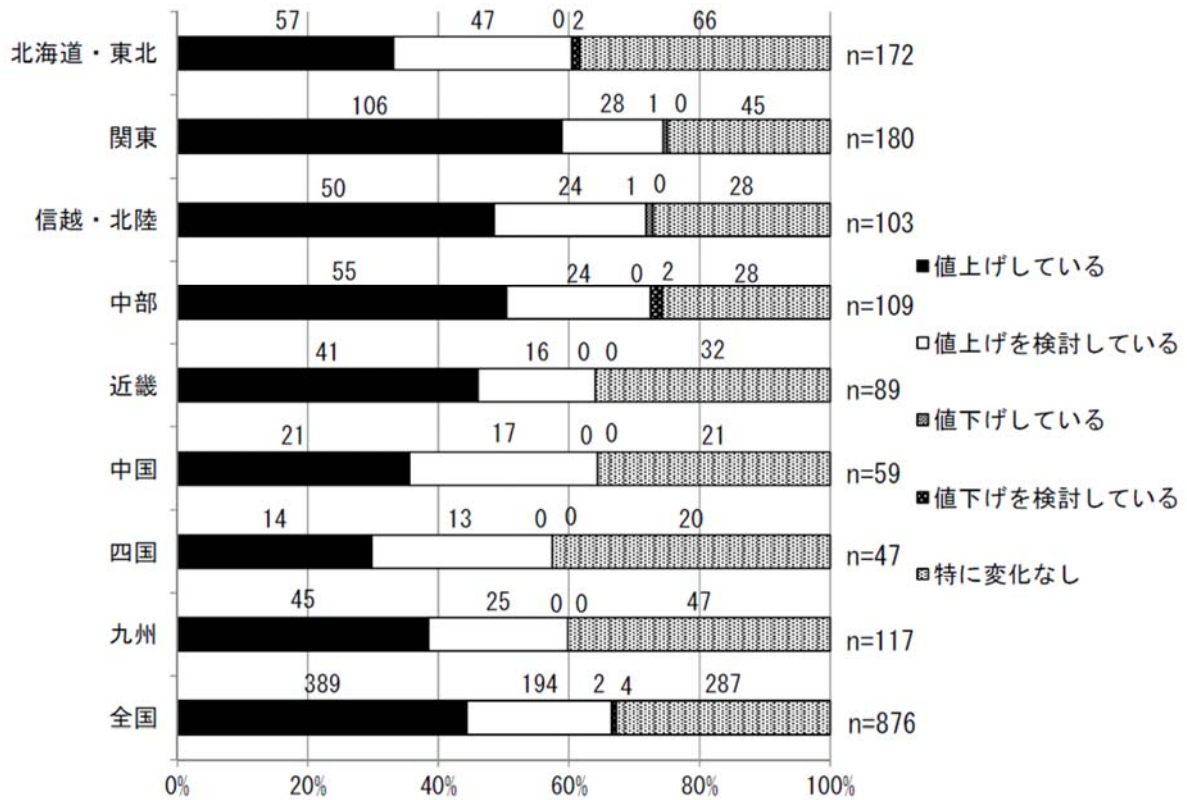


図-7 廃プラの処理料金

調査結果(8)

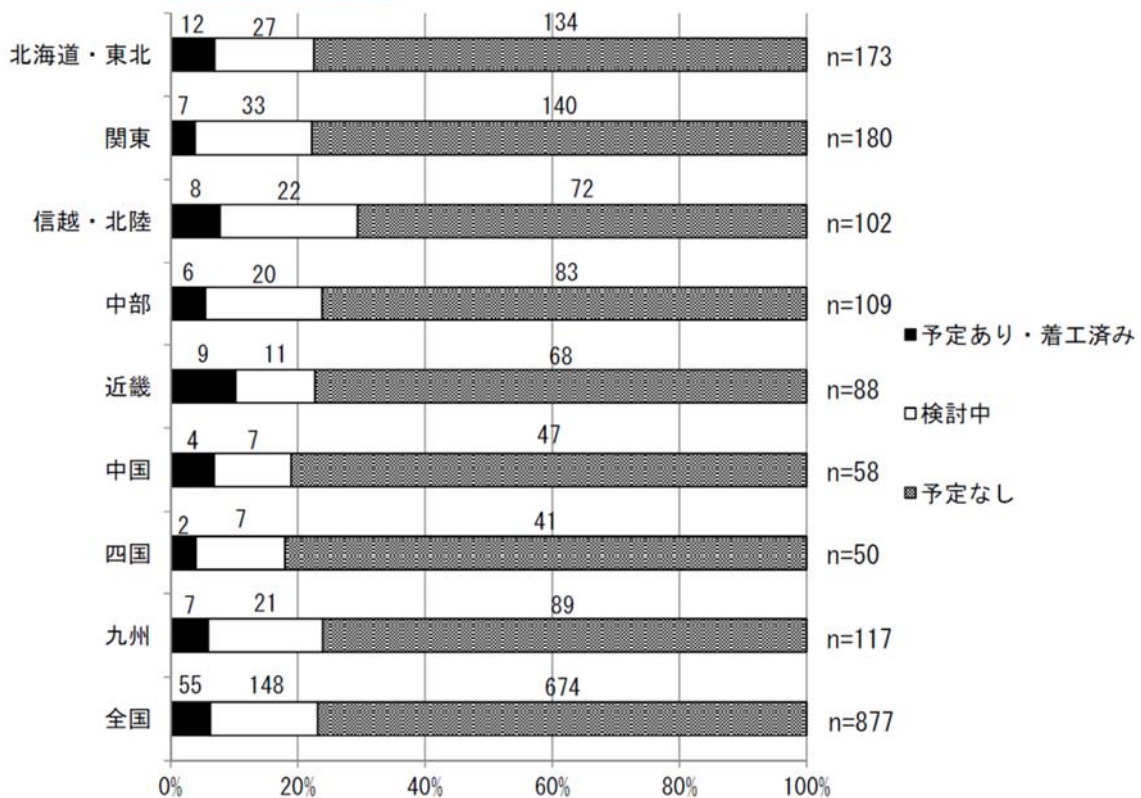


図-8 廃プラ処理施設の新増設の予定

調査結果(9)

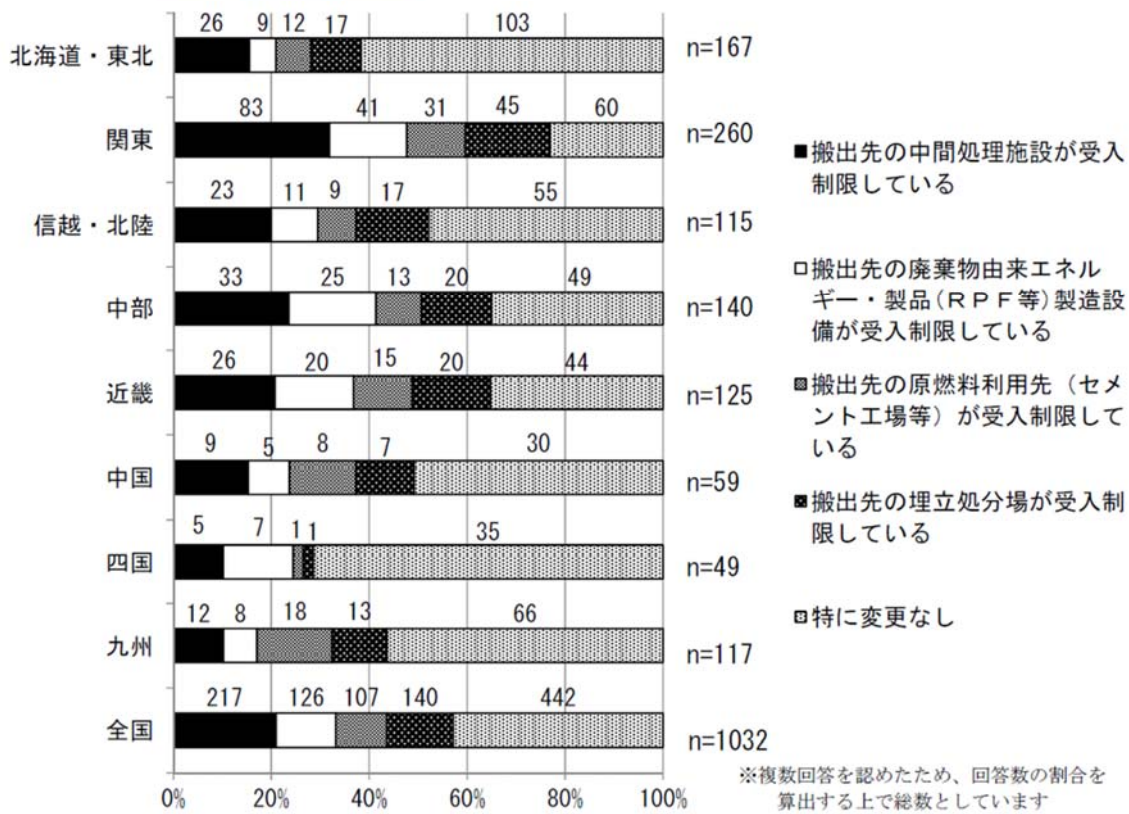


図-9 廃プラの搬出先の対応について

マテリアルリサイクル以外の廃プラの処理 (2017年中国輸入禁止以降)

